

安保・戦争国会粉碎へ！

全学連（斎藤郁真委員長） 書記局通信

2015年8月27日
No.318

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

初参加学生からの大会結集アピール

◆首都圏学生A

7月15日の昼のことでした。大学で友人たちとともに昼食をとりながら、私は国会の中継を見ていました。そこには、本来あるべき民主主義はなく、与党が数の暴力で押し切り、戦争法案を強行採決してしまいました。

私はそこまで自分が行動力のある方だとは思っていませんでしたが、その時ばかりは怒りがどうにも収まらず、午後の授業も吹っ飛ばして、国会前に行きました。すぐ目の前で憲法が侵されているのに、座学でのんびり憲法の授業を受けている場合ではない、と思ったのです。

そして、国会前で全学連の学生の皆さんに出会いました。ゼネラルストライキと国際連帯が戦争を止める唯一の道、と言う話は今まで聞いたこともなく驚きました。

私は普段大学で法律学を学んでいますが、単位に追われ、学費が払えないため高い奨学金を借り、それでも払えない分はアルバイトで補っています。本当に今、生きることそのものが難しいなかで、社会に目を向け、行動に移していくというのは本当に大変なことだと思います。それでも私が国会前に行ったり、今回全学連大会に参加しようと思ったのは、やっぱり今自分が声を上げなければ間違いなくこの国は戦争をする国になってしまう。そんな国を将来の子どもたちや、その先の世代に手渡すわけにはいかないと考えたからです。

今一度自分を奮い立たせ、身近な人から声をかけて、行動に移していきたいと思います。



「最高裁上告棄却弾劾！ 8・23報告・決起集会」 打ち抜く

◆首都圏学生B

8月14日安倍政権は「戦後70年談話」を閣議決定してしまいました。その中で「日露戦争はアジア・アフリカの人々を勇気づけた」などと賛美するものもあります。でも、戦争に正しいとか間違えているとか、あるのでしょうか？ 私はないと思います。戦争は尊い命を奪うだけでなく、その人の幸せな日常生活や夢、希望まで奪うとんでもないものです。それに1%の資本家や皇族が儲かりたいがために99%の罪のない人々が殺されに行く、これが戦争の本当の姿ではないでしょうか。したがって、何かを得る事ができるのは、1%の人々だけという事になります。99%の人達はというと、命を奪われる以上に工場で武器を造るために長時間強制労働をやらされるといふ有様です。資本家の道具の様な扱われ

全学連第76回定期全国大会

◆安倍政権たおそう！ ストライキで戦争とめよう！

◆全国大学に学生自治会をつくろう！

9月2日(水)～3日(木) 東京・浜町区民館にて

両日とも午前9時半開始 ※3日の議事終了後、16時から国会デモ

参加費用＝1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く



方です。しかし、これは太平洋戦争など昔の話ではなく、今現在、少しずつですが、そうなりつつあります。

なぜ、そう言えるのか？ それは、1つ目に、安倍が安保法案を可決させようとしている事が挙げられます。つまり、再び日本が戦争をできる国にしようとしていると言う事です。そして再び、戦争という形で、1%の資本家や皇族が儲かろうとしています。もちろん、99%の中に自衛隊も入っています。

2つ目に、大学の戦争協力です。日本大学に「危機管理学部」という新しい学部ができました。この学部の講師や教授が元防衛省の官僚や元警察官です。後、キャンパスの中で、反対の声を上げたりビラを配ったりしたら最悪の場合、退学になってしまうくらい戦争協力が進んでいます。

又、戦場に行って無事に帰ってきたとしてもPTSDなどの深い傷を負う事になってしまいます。そして、辛さのあまり自殺するという事態になります。

ちなみに、このPTSD（心的外傷後ストレス障害）の主な症状は

- ①フラッシュバック（過去の耐え難い辛い記憶を思い出してしまうこと）
- ②幻想（辛い出来事が起こった場所に、今いるような錯覚を起こすこと）
- ③幻想を起こしてしまうため、今その場に居るようなしぐさをしてしまう

の3点が上げられます。

この3点は、何度も繰り返し起こります、それも突然です。次、いつまた起こるのかも分かりませんし、本当に言葉に出来ないくらい辛い病気です、これだけ辛ければ自殺するのも当たり前です。

以上より、これ以上事態が深刻にならないよう声を上げていきたいし、何よりも全学連大会に参加しようと思いました。又、戦争や安倍の暴走を食い止めるためには、デモに参加するなどの、自分ができる精一杯の事を行っていく事が大切であると痛感しています。

◆首都圏学生C

今日において、多くの学校問題が多発しているが、これは今ある学習要領における欠点によるものである。今ある状況を、腐敗している周囲と闘っている学生と連携し、打破し、新たに方針を定めないといけない。

今ある政府機関、政界を破壊しなければならない。そして、その後には本当の民主主義国家の建国と、永遠の平和を得なければならない。

そのため、今の状況に憂いた私は立ち上がろうと、決意するに至った。



【当面する行動方針】

●被曝労働と帰還強制許すな! 8・29いわき行動

8月29日(土) 13時～ いわき市・平中央公園にて ※集会後にデモ→いわき運輸区前で抗議行動
主催/動労水戸、いわき合同ユニオン、NAZENいわき、動労水戸支援共闘

●戦争法案廃案! 安倍政権退陣! 8・30国会10万人大行動

8月30日(日) 14時～ 国会議事堂周辺にて
主催/戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

●星野文昭さんを取り戻そう! 9・6徳島刑務所デモ

9月6日(日) 13時～ 鮎喰川春日橋たもと河川敷にて集会→14時にデモ出発

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判控訴審・第1回

9月10日(木) 13時半～ 東京高裁にて ※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

